

東京大学での所属学部/研究科（教育部）・学年（プログラム開始時）： 情報理工学系研究科 修士1年

参加プログラム： UC 派遣プログラム 派遣先大学： カリフォルニア大学デービス校

卒業・修了後の就職（希望）先： 1. 研究職 2. 専門職（医師・法曹・会計士等） 3. 公務員 4. 非営利団体
 ⑤民間企業（業界：メーカー） 6. 起業 7. その他（ ）

派遣先大学の概要

アメリカ西海岸カリフォルニア州にあるカリフォルニア州立大学系列校のうちの一つ。農学系が特に有名であるが、理工学系、文学系などの学部ももつ総合大学である。

留学した動機

就職活動の始まりが修士1年の12月から3月に遅れたため、その期間を有効活用しようと思ったため

留学の時期など

- ① 留学前の本学での修学状況： 西暦[2014]年 学部~~（修士）~~博士[1]年の[夏]学期まで履修
- ② 留学中の学籍： 休学~~（留学）~~
- ③ 留学期間： 2014年 9月 ~ 2014年 12月 学部~~（修士）~~博士[1]年時に出発
- ④ 留学後の授業履修： 西暦[2014]年 学部~~（修士）~~博士[1]年の[冬]学期から履修開始
- ⑤ 就職活動の時期： 西暦[2015]年 学部~~（修士）~~博士[1]年の[3]月頃に ~~（行った）~~行く予定
- ⑥ 本学での単位数： 留学前の取得単位[8]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[8]単位
 留学後の取得（予定）単位[14]単位
- ⑦ 入学・卒業/修了（予定）時期： 西暦[2014]年 [4]月入学 西暦[2016]年 [3]月卒業/修了
- ⑧ 本学入学から卒業/修了までの期間： [2]年[0]ヶ月間
- ⑨ 留学時期を決めた理由： 就職活動の時期が遅れたため、就職活動とちょうど被らない時期を選んだ。

留学の準備

- ① 留学先大学への入学手続き（手続きにあたってのアドバイスなど）
 ホームページ上のフォームに書き込む形式だった。2種類のエッセイを書く必要があり、特に語数指定はなかったが両方とも200語程度で書いた。
- ② ビザの手続き（ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど）
 F1ビザを取得した。手続きを始めてから、自分の手元にビザが来るまで2週間ほどかかった。
- ② 医療関係の準備（出発前の健康診断、常備薬、予防接種等）
 3ヶ月と比較的短かったため、健康診断・予防接種等はしなかった。
- ③ 保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社の海外旅行総合保険に4ヶ月分加入した。
- ④ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科（教育部）で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に関して）
 専攻の事務の指示に従って書類を数枚提出した。
- ⑤ 語学関係の準備（出発前の英語レベル・語学学習等）
 自分の研究について話すのに慣れるために、工学系のアカデミック・プレゼンテーションという授業を受けた。
- ⑥ 日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
 洗面道具は現地のもので体合わない場合があるので持参したほうが良いと思う。

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト（授業を履修した場合）
 ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
 ESL: Listening と Writing

EME5 : プログラミング (C, C++, Matlab)

ENG103 : 流体力学

② 留学中の学習・研究の概要 (授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

ESL : 2 時間授業を週 4 回

EME5 : 1 時間授業が週 4 回

ENG103 : 2 時間授業が週 2 回

授業のない時間に、自分の研究と近いことを行っている研究室に訪れて勉強していた。

③ 1 学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間 (授業時間・授業以外の学習時間) など

ESL : A4 で 3 枚程度のエッセイを 3 本書いた。

EME5 : 毎週宿題があり、宿題をこなすだけでも毎回 3~4 時間程かかっていた。

ENG103 : 毎週宿題があったが、2 時間もかからない程度のものであった。

研究室には週に 1, 2 回程度の頻度で行き、博士課程の学生の実験の手伝いを行っていた。

④ 学習・研究面でのアドバイス

Office hour などを利用して積極的に教授や TA とコミュニケーションをとることで授業内容の理解が進んだり、課題がスムーズにこなせるようになると思う。

⑤ 語学面での苦勞・アドバイス等

現地の人たちがどのような言い回しを使っているのかを注意深く聞いて、彼らの真似をするようにしていれば意思疎通が容易にできるようになっていった。

生活について

① 宿泊先 (種類 (寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

ホームステイを希望していたので、大学に紹介された仲介業者を通じて手続きは進めた。

② 生活環境 (気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法 (海外送金・クレジットカード) など)

私が滞在していた 9~12 月はとても過ごしやすく、9~10 月は半袖で過ごしていたし、多少寒くなってもコートを着るほどではなかった。

滞在先は大学から自転車で 15 分程度だったので毎日自転車で通学していた。

お金の管理は日本から持って行ったクレジットカードと現地の銀行で口座をつくり、そこに日本から送金してもらっていた。

③ 危機管理関係 (留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

保険に関しては、日本の留学保険と現地の大学の保険に加入した。健康関係で保険のお世話になることは結局なかったが、安心材料にはなったと思う。

④ 留学に要した費用について (航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・ 毎月の生活費とその内訳

総額 : 10 万円

ホームステイ代 (朝食・夕食込) : 7 万円

昼食代 : 3 万円

・ 留学に要した費用総額とその内訳

総額 : 125 万円

授業料 : 70 万円

生活費 : 30 万円

渡航費 : 25 万円

⑤ 奨学金 (受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSO より月 8 万円の受給を受けていた。

⑥ 学習・研究以外の活動 (スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

週末はサクラメントやサンフランシスコまで観光しに行った。

派遣先大学の環境について

① 留学生へのサポート体制 (語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

オリエンテーションは非常に丁寧であったし、自分はあまり利用していなかったが、留学生用のカウンセリングサービスなどがあり、サポート体制は充実していたように思われる。

② 大学の設備 (図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

図書館には 24 時間利用できる自習室があり、便利だった。またスポーツ施設の利用料は授業料に含ま

れていたもので、基本的に無料で使用できた。

留学と就職活動について

① (就職活動を既に行った場合) 留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
今後、就職活動を行います。

② (今後就職活動を行う場合) 留学が就職に対する考え方に与えた影響
特に大きくは変わらないが、様々な価値観を知れる良い機会ではあったと思う。

③ 留学中の就職活動への対策など (もしあれば)

11月頃から冬期インターンシップの募集が始まったので、留学先からエントリーを行った。

④ 就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

1. 研究職
2. 専門職 (法曹・医師・会計士等) (職名:)
3. 公的機関 (機関名:)
4. 非営利団体 (団体名又は分野:)
5. 民間企業 (企業名又は業界:)
6. 起業 (分野:)
7. その他 ()

留学を振り返って

① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

今回の渡航の目的は、このプログラムを利用して英語力の向上を図るとともに、現在の研究室で取り組んでいる研究内容と関わりを持つ新たな知識や技術を習得することであった。滞在中は、英語授業と専門科目の授業を履修して世界各国から来た留学生や現地の生徒とともに授業を受け、切磋琢磨していた。授業内容は学部時代に受けていたものの延長であり、久しぶりに復習することでより深い理解が得られたように思える。

③ 留学後の予定

留学前の研究の続きを行うとともに、就職活動を開始する。

④ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

少しでも行ってみたい気持ちがあるなら、行ってみるべきだと思う。

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
東大のホームページ

② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: カリフォルニア大学派遣プログラム

派遣先大学: University of California Davis

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

⑤民間企業(業界: 商社、金融) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

カリフォルニア州デービス市にある置である州立大学。獣医学部、農学部は世界でもトップに入ること有名。独自の環境をいかし、ワインやビールの授業といったユニークな授業も開講されている。学生数はおよそ3万人、白人やアジア人が30%ずつ、ヒスパニック系が15%を占める。quarter システムを採用している。

留学した動機

中学高校時に父親の仕事の都合で海外にいたが、中途半端な時期に帰国し、英語のレベルも不十分であったため。また、海外の大学生が日々、互いに切磋琢磨して勉強しているという事実を海外に住む友人に聞き、その環境に身を置き、多くのことを得たかったから。海外大学進学を考えていたことがあり、憧れであったから。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 [学部] / 修士 / 博士[3]年の[夏]学期まで履修

②留学中の学籍: [休学] / 留学

③留学期間: 2014年10月 ~ 2015年6月 [学部] / 修士 / 博士[3]年時に出発

④留学後の授業履修: 西暦[2015]年 [学部] / 修士 / 博士[3]年の[秋]学期から履修開始

⑤就職活動の時期: 西暦[2016]年 [学部] / 修士 / 博士[4]年の[4]月頃に (行った / 行う予定)

⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[40]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[0]単位 留学後の取得(予定)単位[36]単位

⑦入学・卒業 / 修了(予定)時期: 西暦[2012]年 [4]月入学 西暦[2017]年 [3]月[卒業] / 修了

⑧本学入学から卒業 / 修了までの期間: [5]年[0]ヶ月間

⑨留学時期を決めた理由:

2014年3月

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

基本的には、英語の資料を自分で読み進めて、メールでのやりとりを行うこととなる。前もって、はやめはやめにやること。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ネット上に夏休みに入ると、大使館が混むということが書かれていたので、留学決定からすぐに申請を行った。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

歯医者に行ったことのみ。特になし。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

向こうの大学が提供している学校の保険に加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

通年で取らなくてはならない授業の単位分割を行った。

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

特に問題なかったため、吹き替えなしで映画を見て耳を慣らしておいた。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Economics macro, micro International Relations Political Science History African American Studies

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

African American Studies は黒人文化にもともと興味を抱いていた私にとっては印象的であった。黒人の歴史を主に扱うのだが、他の授業と違い、黒人の生徒が全体の4割近くを占めていた。どの授業も基本 discussion のクラスがあったが、質問されそれに答えられるぐらいに予習復習が欠かせない。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

3 授業を履修。ディスカッションクラスも合わせて週 10 コマ程度。授業は 90 分。空き時間は基本課題に割いていた。特に reading の assignment が多く、history の授業など1日に 100 ページ以上読まないといけないものがあった。

④学習・研究面でのアドバイス

わからない単語が出てくるのは当たり前で、もちろんメモなどをするのも良いが、するといくら時間があっても終わらない。ある程度なれると skim でき、単語の意味も予想することができるようになる。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

technical words に関しては特に語彙力がなかったのが苦勞した。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

シェアハウス。オンラインで連絡を取り合って、sublease を見つけた。月 700 ドル、水道費光熱費除く。プール、ジム、テニスコートが付いていた。学校から自転車 15 分、バス 10 分。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

大学都市なので静かで安全。日本と違って、乾燥しており暑くても過ごしやすい。冬もそこまで寒くない。食事は基本自炊していた。現金で 10 万円相当のドルをもって行った。クレジットカードとデビットカード(travelex)を基本使っていたので、あまり現金は使わなかった。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

やはり、禁止されているとはいえ、マリファナを使っている学生が多いようなので手を出さないようにした。ものなども必ず隣の席に座っている人など見ておくよう頼んでから、席を離れた。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

教科書代はピンからキリだが、レンタルや used のを使うことで浮かせられる。家賃も、部屋をシェアするとさらに安くなるが、プライベートがなくなる。

・留学に要した費用総額とその内訳

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

日本語のクラスで週 2 回チューターを行っていた。また、300 人近く所属するマーチングバンドにジョインし、トランペットを吹いた。Taiwanese の学生団体に入って、new years などのイベント運営を行った。向こうでできた外国の友人とサッカーやフリスビーのチームを作って、大会に参加し優勝した。休みは、アメリカ国内を旅し、友人のところに遊びに行った。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

授業についていけない学生は Teacher Assistant や academic center で授業のヘルプを受けることができる。メンタルヘルスの設備も整っており、気軽に相談にいける。また、留学生のプログラムを管轄するスタッフがメールや電話などで対応してくれる。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

大きな図書館が一つと、学部ごとに図書館があったりなかったり。ジムがあり、field もいたるところにある。Canteen は 4 つ。場所によっては、高額。Wifi は大学いたるところにあるが、学生でないと使えない。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

海外の学生のように、ベンチャー企業に就職して、そこで自身のスキルアップを図り、時がきたらあらたな職へと転職するという志向もありなのではないかと。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

留学終わり頃、インターンを調べはじめ、筆記や ES を書いておいた。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)
4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)
6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

国際体験を通じ、国際理解・知識の拡大、語学力の向上などの能力や可能性を広げてくれる。国境を超えた幅広い人的ネットワークの形成につながる。

②留学後の予定

9月から授業を受ける。それまでは、企業でインターンをしている。(ベンチャー企業でプログラミングを始めた。)

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学して後悔することは決していない。一年、休学してでも行く価値は絶対にある。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: UC デービス派遣プログラム 派遣先大学: UC デービス

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) ③公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界:) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

サンフランシスコから車で一時間ほどの場所にあり、小さな大学タウン。
農学がとくに有名で、また町はアメリカ有数の自転車タウンとしてほぼ全住民が自転車を利用している。

留学した動機

アメリカで社会学を学ぶため。
英語のスキルや、コミュニケーションスキルを上げるため。

留学の時期など

- ① 留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 [学部] / 修士 / 博士[3]年の[春]学期まで履修
- ② 留学中の学籍: [休学] / 留学
- ③ 留学期間: 2014年 9月 ~ 2015年 6月 [学部] / 修士 / 博士[3]年時に出発
- ④ 留学後の授業履修: 西暦[2015]年 [学部] / 修士 / 博士[3]年の[冬]学期から履修開始
- ⑤ 就職活動の時期: 西暦[2016]年 [学部] / 修士 / 博士[4]年の[4]月頃に(行った / 行う予定)
- ⑥ 留学での単位数: 留学前の取得単位[54]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[0]単位
留学後の取得(予定)単位[30]単位
- ⑦ 入学・卒業 / 修了(予定)時期: 西暦[2012]年 [4]月入学 西暦[2017]年 [3]月卒業 / 修了
- ⑧ 本学入学から卒業 / 修了までの期間: [5]年[]ヶ月間
- ⑨ 留学時期を決めた理由: 就活時期にかぶらないようにするため

留学の準備

- ① 留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
入学手続きに関しては特に難しいことは無し
- ② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
F1ビザを取得。ビザは八月までには申請した。
- ③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
最低限の予防接種は受けた。(日本脳炎など)
- ④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
向うの大学が提供している保険の質があまり良くなく、日系の保険会社が提供しているものを利用
- ⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
通年でとっている授業の単位を分割した。
- ⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
TOEFLを受験。当時の点数は76点
- ⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
英単語帳、電子辞書など。海外ドラマを見て耳を慣らしておくとうい

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
Sociology3
Social Problem
Women in Africa
Sociology125
Geology17

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業の文献は毎週読むことが必須。特に社会学は辛かった。

Social Problem の授業は面白かった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

大体1学期に3つ程度の授業を取るのが普通。

予習復習に毎日3時間ほど費やしたが、毎週金曜日に社会学の小レポート提出だったので木曜日は毎週徹夜
その他土日は個人的に英語の勉強

④学習・研究面でのアドバイス

とにかくたくさん勉強して課題に追われて苦しむことが、後で必ず役に立つと思います。

週に何コマもあるので面白いと思える授業を取りましょう。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

語学面ではとても苦勞しましたが、分からなくても英語に触れ続けることが重要です。

生活について

① 宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

West Village というアパートでした。高いのでお勧めしません。

② 生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は年中通して温かいのでTシャツを多く持っているといいです。

街中は自転車と無料バスでどこでもいけますが、サンフランシスコに行くのは不便です。

食事はできるだけ自炊を心がけました。

③ 危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

日本から風邪薬を持って行きました。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃、食費、遊ぶお金、+服は現地で調達

・留学に要した費用総額とその内訳

上記に加えて航空費、授業代など

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

テコンドー部、模擬国連、フラダンス、小学校でのボランティア、長期休暇はラスベガスやロサンゼルスに旅行しました。

派遣先大学の環境について

① 留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

常にサポートセンターがあり、サポート体制は完璧です。

② 大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

食堂はやや高いので、お弁当を作って持って行ったりしていました。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

③ 今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

発展途上国からの留学生の、自国を背負って勉強しているという姿勢に感銘を受け、公務員を目指しました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)

4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)

6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

自分の馴染みのないことや苦手なことにも挑戦してみる姿勢は身に付きました。

② 留学後の予定

現在は就職活動中です。

③ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

自分が今までできなかった発想ができるようになると思います。

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

東大のホームページ

② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。